

トップメッセージ

“安心・安全・健康”であふれる未来へ

平素は、SOMPOひまわり生命保険をお引き立て賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は、「“安心・安全・健康”であふれる未来へ」というパーパスのもと、生命保険の価値を進化させ、お客さま一人ひとりの人生に深く寄り添う存在であり続けることを目指しています。これまで私たちは、「健康応援企業」として、保険と健康を融合した独自の価値「Insurhealth®（インシュアヘルス）」を提供し、「万が一に備える」だけでなく、「万が一を可能な限りなくす」という、新たな価値創造に挑み続けてまいりました。

一方で、人生100年時代の進展により、社会課題はより複雑かつ多層的なものへと変化しています。

健康に加え、介護、老後資金といった将来不安の広がりに対し、従来の枠組みを超えた対応が求められています。こうした社会の変化に真正面から向き合うため、当社は「健康応援企業」から「ウェルビーイング応援企業」へと進化します。

病気やケガへの備えにとどまらず、日々の健康づくり、さらには将来の介護や老後資金への不安まで支援領域を広げ、お客さまが人生のさまざまな局面において、自分らしい選択を重ねていけるよう支えていきます。その実現に向け、SOMPOグループの持つ多様なアセットを最大限に活かし、「予測」「予防」から「予後・介護」「ライフエンディング」までを一気通貫でバリューチェーンとして構築し提供することを通じて、お客さまのライフスタイルやニーズに応じてまいります。また、多様なデータの活用により保険の付加価値を一層高めるとともに、各事業者との「つなぐ・つながる」連携を深化させ、バリューチェーンの提供を加速していきます。これにより、お客さまのライフスタイルやニーズに応じた最適なソリューションの提供を推進してまいります。健康、介護、老後資金といった将来への不安が和らぎ、人生のさまざまな場面において自分らしく過ごすことができる状態。それが、私たちの考えるウェルビーイングです。

また、AI時代の到来は、ビジネスモデルそのものの変革を求めています。当社は、デジタル・データ・AIの活用を成長戦略のトップアジェンダとして位置付け、生産性と顧客利便性の飛躍的向上を実現するとともに、お客さまの潜在ニーズや価値観の変化を的確に捉えた新たなサービス創出に取り組んでいます。これにより、持続的な企業価値向上と競争優位性の確立を目指してまいります。

こうした価値創出を持続的に実現していくためには、その担い手である人材の力が不可欠です。当社では、インシュアヘルスを体現する基盤として、社員とその家族の健康を重要な経営課題と位置づけ、社員が楽しみながら健康づくりに参加できる組織風土の醸成に取り組み、健康経営を推進しています。例えば、定期的な部署対抗のウォーキングイベントの開催や、健康に関するセミナー、ミーティングの実施を通じて健康リテラシーの向上を図るなど、健康意識の向上と行動変容を促進しています。こうした取組みは、社員のウェルビーイング向上と持続的な活躍を支える基盤となり、人的資本価値の向上にもつながっています。これらの取組みは外部からも高く評価され、「健康経営優良法人2026(大規模法人部門(ホワイト500))」に10年連続で認定されています。

こうした取組みを積み重ねていくうえで、保険事業の根幹にあるのは、やはり「信頼」です。保険は目に見えない価値をお届けするものであるからこそ、お客さまとの信頼関係なくして成り立つものではありません。当社は、お客さま本位の業務運営を徹底し、誠実かつ透明性の高い企業活動を継続することで、一つひとつの接点において信頼を積み重ね、長期的な信頼関係の構築に努めてまいります。

当社はこれからも、変化を恐れず挑戦を続けながら、ウェルビーイング応援企業として新たな価値を創出し続けることで、お客さまと社会の持続的な発展に貢献してまいります。

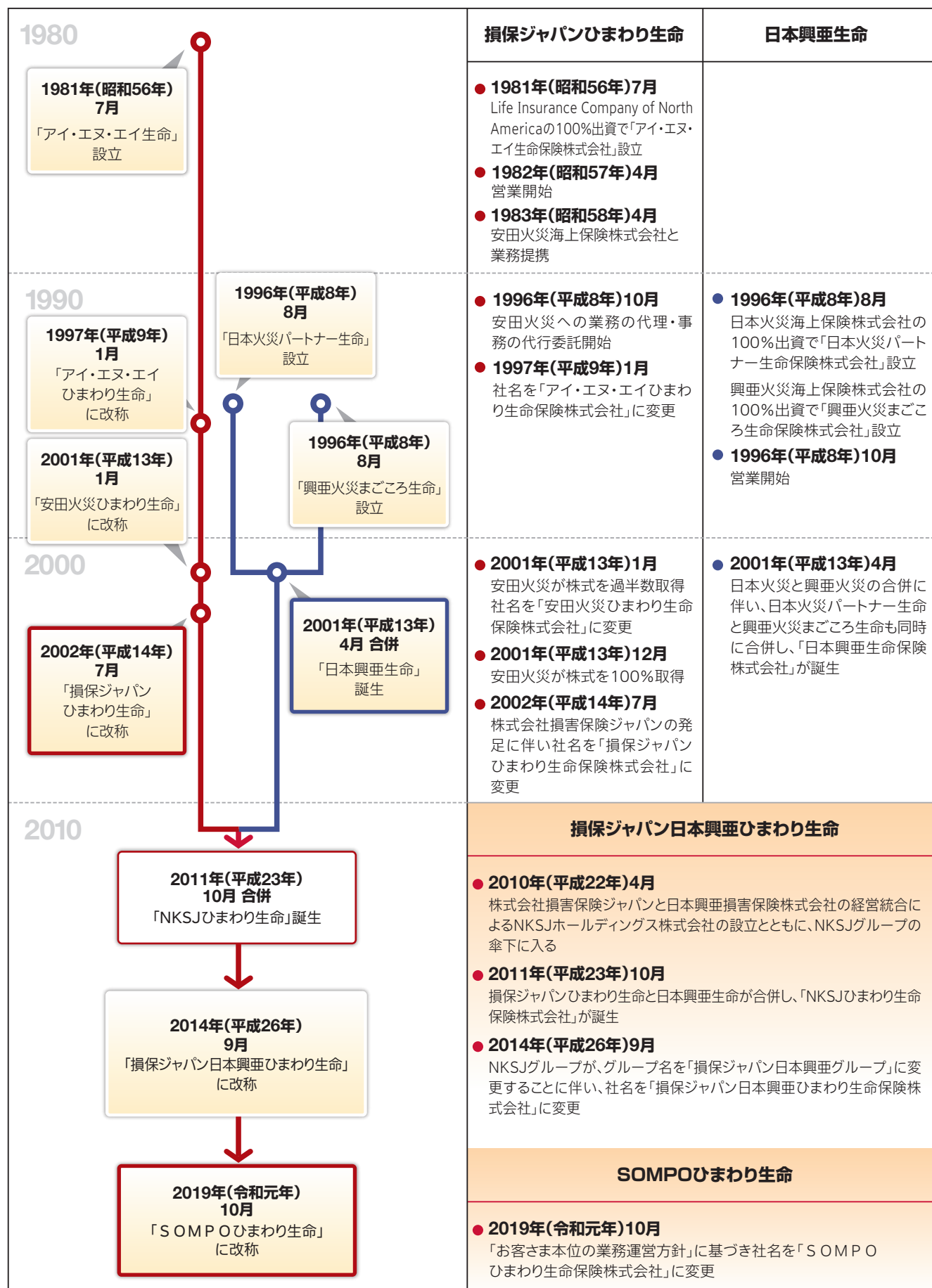


2026年7月

代表取締役社長

久米康樹

SOMPOひまわり生命の沿革



トピックス

『健康をサポートする変額保険 将来のお守り』の第2弾商品を発売

2025年12月2日より、Insurhealth®(インシュアヘルス)商品の第12弾として、『健康をサポートする変額保険 将来のお守り』の第2弾となる「変額保険(V2)(死亡保障型)」を発売しました。

2023年5月に発売した「変額保険(V1)(就労不能・介護保障型)」がご好評をいただくなか、今回はより幅広いお客さまに変額保険をお届けするため、死亡・高度障害保障に特化しました。万一の場合の備えを確保しつつ、効果的な資産形成を行える点が特徴です。

本商品ではV1と同様に、健康状態などに応じて毎月の積立金が加算される「健康ステージ」や、加入後でもより良いステージの適用に挑戦できる「健康☆チャレンジ!制度」を搭載しています。

多様なニーズに応じた新たな選択肢をご用意し、お客さまの健康で豊かな老後の実現を目指します。



『無配当団体3大疾病保険』を発売

Insurhealth®(インシュアヘルス)商品の第13弾として、2026年1月13日より「無配当団体3大疾病保険」を発売しました。

本商品は、3大疾病(悪性新生物・急性心筋梗塞・脳卒中)に罹患した際に一時金を給付し、働きながら治療を受けるための費用負担や休業による収入減少に備えることで、従業員の「治療と仕事の両立」を支援します。

また、大きな特長として、本商品には「団体健康診断割引特約」が付加され、従業員の健康診断結果を集計した「健康診断レポート」をご提出いただくことで、所定の要件を満たした場合には、保険料が割り引かれます。

万が一の保障だけでなく企業の健康課題の可視化を推進し、健康経営®の推進を企業と従業員の双方からトータルでサポートします。

※健康経営®は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。



ピロリ菌検査のご紹介を開始

2025年12月1日より、MYひまわり会員向けにH.U.POCKeT株式会社が開発した「ピロリ菌検査」のご紹介を開始しました。

胃がんは日本人に多いがんの一つであり早期発見・予防が重要となるなか、本サービスを利用することで、発症の重大なリスク要因とされるピロリ菌の感染リスクについて、郵送検査を通じて手軽に判定することができます。

さらに、検査を受けられた方は無料のコンシェルジュサービスを利用でき、看護師や保健師などの資格を持つスタッフに、検査結果や健康への不安を電話で相談できる手厚いサポート体制を整えています。

この取り組みを通じて、より多くのお客さまが自身の健康状態に向き合うきっかけを提供し、社会全体の健康意識向上と健康寿命の延伸に貢献していきます。

ピロリ菌検査

「SOMPOひまわり生命 ライフエンディングサポート」を開始

終活関連サービスのリーディングカンパニーである株式会社鎌倉新書とSOMPOホールディングス株式会社の資本業務提携に基づき、人生の終末期に関する準備を包括的に支える新サービス「SOMPOひまわり生命ライフエンディングサポート」の提供を本格的に開始しました。

人生100年時代を迎え、お客さまの抱える不安は健康面にとどまらず、介護や相続、そして自身の死後の手続きといったライフエンディング領域まで多様化しています。

本サービスでは、お葬式やお墓の準備、相続・遺言手続きの専門家紹介、遺品整理、さらには介護施設探しに至るまで、多岐にわたる課題をワンストップでサポートします。いざというときに戸惑いを感じやすい終活領域において、信頼できる専門機関と連携した最適なソリューションを提示することで、お客さまとご家族が最後まで自分らしく、笑顔で心豊かな人生を歩むための新たな価値を提供します。

● お客さまの健康を応援する 「インシュアヘルス」商品 累計販売件数が200万件を突破

当社が2018年4月から提供している「Insurhealth®(インシュアヘルス)」商品の累計販売件数が、2025年3月に200万件を突破しました。

インシュアヘルスは、保険本来の役割(Insurance)と健康をサポートする機能(Healthcare)を組み合わせた当社独自の価値であり、健康状態が改善すると保険料が割安になる「健康☆チャレンジ!制度」や、生活習慣病の重症化予防サポートなど、お客さまの健康維持・増進を後押しする多様な商品を拡充してまいりました。

多くのお客さまにインシュアヘルスに共感いただいた結果であり、今後もさまざまな商品・サービスの提供を通じて、当社のパーパスである「“安心・安全・健康”であふれる未来へ」の実現に向けて、お客さまの不安を取り除き豊かな人生を応援していきます。

● 「健康☆チャレンジ!制度」の 健康効果に関する新エビデンスを公開

当社が提供する「健康☆チャレンジ!制度」において、2026年1月末までに累計18,549件のご契約でチャレンジが成功し、その健康改善効果に関する新たなエビデンスを取得しました。

本制度は、加入後の喫煙状況や健康状態(BMI・血圧など)の改善により保険料が低減し、さらに「健康チャレンジ祝金」を受け取れる仕組みです。これまでの成功者による保険料低減額は年間平均約12,000円、祝金給付総額は約6億7,600万円に達しています。

今回の調査では、本制度を通じて健康指標が改善したお客さまにおいて、未改善のお客さまに比べて入院率が低い結果が確認されました。これは、2024年9月にリリースした「MYひまわりアプリ」などを活用した健康行動の習慣化が、一時的な数値改善にとどまらず、中長期的な健康づくりに寄与していることを示す重要な成果です。Insurhealth®(インシュアヘルス)による価値提供が、お客さまの健康改善と経済的メリットの両立に加え、具体的な病気のリスク低減につながる可能性があることが客観的なデータで実証されました。

● 生成AIを活用した照会回答支援システム 「AIサポちゃん」の導入

営業店での新契約に関する照会対応の効率化および本社への照会業務削減を目的に、生成AIを活用した照会回答支援システム「AIサポちゃん」を導入しました。

近年、商品の多様化に伴い各種規定やマニュアルが複雑化し、代理店などからの問い合わせ対応に時間を要する課題が生じていました。「AIサポちゃん」は、生成AIとRAG(検索拡張生成)技術を活用し、社内に蓄積された膨大なFAQデータをもとに、精度の高い回答案と参照元データを自動で提示します。

本システムの活用により、2030年度までに新契約の照会対応に要する時間を年間6,500時間削減することを見込んでいます。営業現場の大幅な業務効率化を図るとともに、迅速な回答による顧客満足度の向上を同時に実現します。

● HDI格付けベンチマークで 最高評価『三つ星』を2年連続でダブル獲得

HDI-Japanが主催する2025年「HDI格付けベンチマーク(生命保険業界)」において、「Webサポート」および「問合せ窓口」の両部門で最高評価である『三つ星』を獲得しました。これにより、2年連続で両部門におけるダブル受賞を達成しました。

実際の評価内容は以下のとおりです。

<Web サポート>

「直感的に分かりやすいデザインで、必要な情報にすぐアクセスできる。『よくある質問』やシミュレーション機能は操作しやすく非常に便利である。健康維持に関する情報提供や、保険相談の環境も充実しており、安心感をもって利用できる。」

<問合せ窓口>

「質問を常に前向きな姿勢で受け入れて、顧客の要望に柔軟に答えている。保険を検討している理由や目的にも丁寧に耳を傾けてくれるので、安心感がある。顧客一人一人に合わせた提案からは誠実さが伝わり、信頼して相談できるサポートである。」

今後も、多様化するお客さまのニーズに寄り添い、最高品質のサービスを提供できるよう努めてまいります。

出典:HDI-Japan 生命保険業界 企業毎分析結果 https://www.hdi-japan.com/hdi/Bench/results/202505_k.asp



トピックス

●「健康経営優良法人 2026 大規模法人部門 (ホワイト500)」に10年連続認定 ～総合評価において業種内で第1位～

経済産業省および日本健康会議が運営する健康経営優良法人認定制度において、「健康経営優良法人 2026(大規模法人部門(ホワイト500))」に10年連続で認定され、業種内では第1位※となりました。

健康経営優良法人認定制度は、地域の健康課題に即した取組みや日本健康会議が進める健康増進の取組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度であり、健康経営優良法人(大規模法人部門)認定法人の中で、評価500位以内の法人が「ホワイト500」として認定されます。

当社は「ウェルビーイング応援企業」への進化のため、社員一人ひとりとその家族の健康維持・増進が不可欠であるとの考えのもと「健康経営」を実践しています。

エンゲージメントスコアなどの健康経営に関するKGI・KPIを設定し、社員の健康と働きがいを高めることで、持続的な企業価値の向上を目指し、多岐にわたる施策を展開しています。

※評価結果開示に同意した法人中の順位



●「D&I AWARD 2025」において最高評価 「ベストワークプレイス」に3年連続認定

株式会社JobRainbowが主催するダイバーシティ&インクルージョン(D&I)に取り組む企業の格付け制度「D&I AWARD 2025」において、最高評価である「ベストワークプレイス」に3年連続で認定されました。

本アワードは、「ジェンダー」「LGBTQ+」「障害」「多文化共生」「育児・介護」の5項目・100指標に基づき、企業のD&I推進度を多角的に評価しています。最高ランクの「ベストワークプレイス」は、世界的にも高い水準でD&Iを推進し、その理念が事業やサービス、企業組織のあらゆる側面に反映されている先進企業にのみ贈られます。

当社では、多様な人財が能力を最大限に発揮できる環境づくりを重要な基盤ととらえ、同性パートナーを配偶者とみなす「パートナーシップ・ファミリーシップ制度」の導入や、女性社員の活躍フィールドを広げる「地域限定転勤制度」の拡充など、DEI(ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン)の風土醸成を継続的に推進してきました。今回の3年連続認定は、こうした具体的な施策の積み重ねと、社員一人ひとりが主体的に多様性を尊重し合う企業文化が、極めて高い水準で定着していることが改めて評価された結果ととらえています。

